

中国1「読むこと（古典）」に関する問題①

年 組 番 氏名

次のA・Bの文章中の傍線部①～⑤の語句の読み方を、あとに示す「例」のように現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

A

ある日きつねぶだうはたけに入り、赤く熟せしぶだうの高き棚よりすゞなりにさがりたるを見て、
ぶどう畑 多く群がって

これはうまさうじやと、したうちをしてほめたて、幾度となく躍上り踊上りたれどもとどかず。そ

おいしそう

舌つつみ

こできつねがはらをたつて、「ヨシ。なんだこんなものを。ぶだうはすっぱいぞ」

腹を立てて

なんでも手前勝手のものじや。自分の思ふ様になればほめる。ならねばそしる。こゝが情の私

自分勝手

非難する

自分の利益だ

②

とするとところじやゆゑ常に戒めねばならぬぞ。
自分を言い聞かせなければならぬ。

『通俗伊蘇普物語』による

B

王戎、七歳のとき、かつて諸小児と遊び、道辺の李樹、子多くして枝を折れるをみる。諸児
人名 以前に 子どもたち 道端のスモモの木 実 枝が折れ曲がっている 子ども達

競ひ走りてこれを取るも、ただ戎のみ動かず。人これを問へば、答へていはく、「樹、道辺に在りて

王戎

子多し、これ必ず苦李ならん」と。これを取ればまことにしかり。

苦いスモモだろう

本当に

そのとおりであった

『世説新語』による

【例】かをり↓(かおり)

- ① 思ふ↓()
- ② ゆゑ↓()
- ③ 競ひ↓()
- ④ 問へば↓()
- ⑤ 答へて↓()

《解答》

| | | | | |
|---|---|---|---|----|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 答 | 問 | 競 | ゆ | 思 |
| へ | へ | ひ | ゑ | ふ |
| て | ば | ひ | ゑ | ふ |
| ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ |
| (| (| (| (| (|
| こ | と | き | ゆ | おも |
| た | え | そ | え | う |
| え | ば | い | え | う |
| て | | | | |
|) |) |) |) |) |